

【担当教員名】 高橋栄明、能登真一、濱野強 石原美由紀、山崎史恵、小野寺良二	対象学年 1	対象学科 理学・作業・言語・義肢・栄養・林・看護・社会
	開講時期 後期	必修・選択 選択
	単位数 1	時間数 15

【<概要>又は<一般目標：G I O>】

- I. ひとの生きがい、人生の幸福・満足感を知るために、社会の発展に貢献したモデル事例の行動を調査し、一般的なQOLを理解する。
- II. 広い年齢層にわたる患者、対象者の問題を認識するために、非健康関連QOLと健康関連QOLとの相違を学習する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】

- | | | |
|--------------------------------|--------------|----------------|
| 1. モデル事例の行動を列記できる。 | モデル事例（予定） | |
| 2. 行動の社会的背景を説明できる。 | アル・ゴア | レイチェル・カーソン |
| 3. 行動の動機を説明できる。 | アンリ・デュナン | クリストファー・リープ |
| 4. 行動の社会的意義を説明できる。 | アンネ・フランク | チャーリー・チャップリン |
| 5. 行動の課題を整理できる。 | ヘレン・アダムス・ケラー | アルベルト・アインシュタイン |
| 6. モデル事例における達成感を説明できる。 | 高木兼寛 | 神谷美恵子 |
| 7. 非健康関連QOLと健康関連QOLとについて説明できる。 | 酒井雄哉 | マジック・ジョンソン |

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	本学の理念としてのQOL・オリエンテーション 一般事例の選択 9月30日		1 講義、グループ分け 高橋 能登・濱野・石原・山崎・小野寺
2	QOL一般論（石原美由紀）、モデル事例の調査 自己実現、生きがい、存在価値といった人間が生きていく上で、とても重要であり、一度は 考え、悩むであろうことについて事例を通して解説し、QOLとは何かを考えてみる。 10月14日	1-6	高橋・能登・濱野・石原・山崎・小野寺
3	QOL一般論（山崎史恵）、モデル事例の調査 運動・スポーツはQOLに関わる重要な要因であり、健康を考える上で避けて通ることがで きない。さまざまな身体活動から得られる満足感、幸福感について概説する 10月28日	1-6	高橋・能登・濱野・石原・山崎・小野寺
4	QOL一般論（小野寺良二）、モデル事例の調査 QOLの一般論を基にQOLの定性的・定量的な評価について論じ、保健・医療・福祉およ び工学の面からのQOL向上へのアプローチを研究事例より紹介する。 11月11日	1-6	高橋・能登・濱野・石原・山崎・小野寺
5	モデル事例の調査発表（小グループ） 11月25日	1-6	高橋・能登・濱野・石原・山崎・小野寺
6	モデル事例の調査発表（優秀グループ） 12月9日	1-6	高橋・能登・濱野・石原・山崎・小野寺
7	モデル事例の調査発表（優秀グループ） まとめ、QOL一般論アンケート 1月13日	7	高橋・能登・濱野・石原・山崎・小野寺

【使用図書】

<書名>

<著者名>

<発行所>

<発行年・価格・その他>

教科書
(必ず購入する書籍)

参考書

その他の資料

図書館などの資料を利用、モデル事例についてのDVD
インターネットによる検索

【評価方法】

モデル事例の調査に基づいたレポート、出席、
グループ発表、期末試験を総合して評価

【履修上の留意点】

ノート型パソコン使用